

### コロナウイルス感染爆発を防ぐために、市独自で、無料のPCR検査の実施を



日本共産党西東京市議団 保谷 清子

#### PCR検査とワクチン接種を迅速に

**問** コロナ感染爆発と医療崩壊が深刻な事態となっている。国の動向を待たず、市独自で、PCR検査の拡充と迅速なコロナワクチン接種を進めるべきだ。見解を伺う。

**答** PCR検査・ワクチン接種とも本市の医師会と一層連携し、取組を進めていく。

**意見** 市としても、PCR検査をいつでも、どこでも、誰でも無料で受けられるような体制をつくるべきだ。

#### 認知症と補聴器補助について

**問** 認知症予防のためには、加齢性難聴者の実態を把握し、補聴器の補助制度を導入することが急がれている。7月からの認知症検診では聞こえについての調査もするのか。補聴器補助の調査は進んでいるのか。

**答** 検診には、聞こえの質問項目を

設けている。補聴器補助については、特別区を調査・研究していく。

#### 産前産後ケア・支援について

**問** 地域の助産師さんの力も借りて、全ての出産を経験する女性への産前産後ケア・支援に取り組むことが必要と考えるが、ご所見を伺う。

**答** 本市では、産前産後ケア事業を実施し、必要な支援を行っている。

**意見** さらに充実を求める。



### 市長は保健所と情報共有をし、自宅療養者の把握と支援拡充に全力で取り組むべきだ!



日本共産党西東京市議団 大竹 あつ子

**問** 多数の自宅療養者が出ているが、保健所の業務が逼迫し、感染者の支援が遅れている。市は備蓄品の配付を始めたが、それだけでは不十分だ。保健所と感染者の情報共有をし、買物支援や病態の確認、\*酸素ステーションなど、臨時的医療施設などを設置すべきだが見解は。

**答** 情報共有については、市職員が感染症法に基づく業務を行っていないことが課題。自宅療養者の食料品以外の支援も検討している。

**意見** 陽性者と接触しなくても電話などで要望を聞き、健康状態などを相談支援することはできる。さらに踏み込んだ支援が必要だ。

#### その他の質問

◇感染が拡大した場合の小・中学校のオンライン授業の対応

◇夏休み明けで不安を抱える児童・

生徒の対応

◇タブレットの破損の際の対応とメディアリテラシー教育

◇妊婦や受験生、教育・保育関係者等のワクチンの優先接種

◇保育施設の新型コロナウイルス感染症のガイドライン

◇ひとり親家庭の支援

◇深刻な介護人材不足

◇都有地の福祉施設活用



自宅療養者に配布している食料セット1日分

## 一般質問の要旨

第3回定例会で26人の議員が行った一般質問の主な内容についてお知らせします。掲載内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

質問の全文は会議録に掲載します。会議録の公開予定等は8面をご覧ください。

一般質問とは、議員個人が市政全般について市長や教育委員会などに質問することです。

西東京市議会では、答弁時間を含めて1人当たり50分の持ち時間で行っています。



本会議の様子は議会インターネット中継から視聴することができます。QRコードからアクセスしてください。

### コロナ禍、市民のいのちを守ることを最優先に保健所の感染症対応、情報共有の抜本強化を



日本共産党西東京市議団 藤岡 智明

**問** 新型コロナウイルス感染爆発のもとで、いかに感染拡大や在宅重症化を防ぐかという重要課題で、積極的な役割を果たしている保健所行政について見解を伺う。

**答** コロナ感染症対応については、多摩小平保健所と、都の陽性者の対応状況・療養施設の受入状況など、情報共有を頻繁に行っている。

**意見** 今市民の求めている情報は、市内療養者・重症患者のより詳細な情報や受入ベッド状況、大規模検査実施体制確立などだ。これらの情報共有と体制確立を早急に求める。

#### 介護施設補給給付負担増について

**問** 8月から特養・老健など、高齢者施設の入所者を対象とした食費・居住費を減額する補給給付制度が改定され、利用者負担増が実施されている。今回の改定に対する見解は。

**答** 改定により、預貯金の要件や年金収入額によって負担増となる方がいる。昨年度の補給給付件数は、1,138件。今後補給給付の見直しや介護報酬改定による影響等を注視していく。

**意見** 改定を知らない人もいる。個々具体的な事情に基づき、施設追い出しにつながることをないよう、丁寧な対応を求める。



### ワクチンは任意。接種の強制になる同調圧力を防止するためのメッセージを出すべきだ



無所属② 森 てるお

**問** 政策実現のためには、趣旨の詳しい説明と、メッセージを出し、市民の協力を受けることが必要だ。コロナ対策を市はなぜやるのか、何をやるのか、市長の思いは何か。

**答** 人の命、健康を守る、まちを健康に、日常を取り戻す。これらを柱にした政策を考えている。ポイント還元事業やプレミアム応援券事業で経営が厳しい事業者を支援する。コロナ収束に市民の協力、大切な人を守る行動をお願いする。

**問** ワクチンの早期接種はいいが、打たない選択をした人に対するメッセージはどうか。私は「ワクチン接種をしない」と公言しているから、同調圧力を感じるという人からの質問を受け取る。ワクチンは任意接種だとメッセージを出すべきだ。どんなワクチンなのか、打たなければど

うなる、打った場合どんな影響があるのか、細かく説明する必要がある。

**答** ワクチンは感染した場合に発症や重症化を予防する効果がある。接種は強制ではなく、希望しない場合は接種する必要はない。ワクチン接種を受けていない人に接種を強制したり、受けていないことを理由にいいじめや差別的な扱いをしたりすることは許されない。



### 都市計画道路3・4・9号線の一部開通 住民が要望する横断歩道・信号機の設置を



日本共産党西東京市議団 中村 さぐる

**問** 8月2日に3・4・9号線の東大農場を横断する部分の交通開放がされた。東大農場通りとの交差点への横断歩道設置と、今回の開通に伴い谷戸新道で廃止されてしまった2カ所の横断歩道等の再設置は切実な地域住民の要望である。市の見解は。

**答** 東京都と警視庁の協議の中で総合的に勘案された結果、現状に至ったと認識している。

**意見** 特に谷戸新道の横断歩道等の廃止については地域住民の苦情が多い。「事故が起こってからでは遅い」という声は異口同音である。市としても積極的に動くべき。

#### 核兵器禁止条約への認識について

**問** 本市も加盟している平和首長会議や非核平和宣言自治体協議会では日本国も含め条約への署名・批准を求める決議等が採択されている。池

澤市長も同じ認識か。

**答** ヒバクシャ国際署名の提出により、日本国を含む全ての国に条約締結を求める姿勢を示している。

#### その他質問

◇生活保護の誤解・偏見を解消する取組

◇コロナ禍での事業者への直接支援

◇学生・若者世代への支援

◇SDGsの基本的な考え方



田無駅前「平和のリング」

\*酸素ステーション 入院が必要な患者・自宅療養者に対し、応急処置として酸素投与をする緊急施設。